

嘉麻市社協だより

# えがお

発行日 2010.1.1

No.  
47

明けまして  
おめでとう  
ございます。



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会  
〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内  
TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>  
FAX 0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

# 自分たちのまちを考え、実行する… それがまちづくりの第一歩!!

## 第1回地域福祉部研修会

12月11日(金)、稲築地区公民館で、平成21年度第1回地域福祉部研修会を開催しました。この研修会は、行政区長や民生委員、福祉推進員、ふれあいサロン関係者の方々に地域での福祉活動の必要性について、理解を深めてもらうことを目的に開催しているものです。今回は80名を

超える参加があり、地域福祉部を設置している稲築地区だけでなく、碓井や山田、嘉穂地区からも多くの方が参加されました。

講師にはまちづくり活動に関する支援を行っているNPO法人まちのカルシウム工房で代表を務めるとともに、東海大学福岡短期大学准教授の竹内裕二さんを招いて、従来の講義形式ではなく、参加型のワークショップを取り入れて行いました。



ワークショップの中で、竹内さんからアドバイスを受ける参加者

### グループごとに意見を出し合います

竹内さんは、「今日は難しい話を聞くのではありません。皆さんには、自分の住むまちのことを考えて帰ってもらいたいと思っています。」と今回の研修会の目標を伝え、戸惑いの様子が見られる参

加者の緊張を和らげるため、「それでは練習」として、今晚食べたものをメモ用紙に書いてみて下さい」と説明。それぞれがリラックスした状態になったところで、地区別に分かれた12のグループごとに、「自分の住むまちをどうしたいのか、それを実現するためにできることは何か」ということを話し合っても

でも住んでいる地区が違えば、課題も違います。まちづくりは、そのような地域住民の声を集めていくこと。そしてその課題に対してどのような行動すればよいかを考えることから始まります。今日、考えたことを明日から実行してみてください。それがまちづくりの第一歩です。」と呼びかけました。

参加者からは、「今日は、自分たちのまちのことを楽しみながら考えることができ

ました。他の地区の方の話も聞けて、勉強になりました。」と充実した感想も聞かれました。

2月には2回目の研修会を予定しており、再び竹内さんにお越しいただいて、今回に引き続き、ワークショップ形式でまちづくりについて考えていきたいと思っていますので、興味のある方は、ぜひお気軽にご参加ください。



# 野宿しなければならぬ厳しい現実を実感

～NPO法人北九州ホームレス支援機構へ物資を届ける～

12月11日(金)、NPO法人北九州ホームレス支援機構が実施した炊き出しに合わせて、市民の皆様から寄せられた越冬支援物資(毛布11枚、男性用ジャンパー18着等)を届けるため、北九州市新勝山公園へ向かいました。公園の近くに行くと、テントから眩しいくらいに明かりがもれ、やさしく道案内してくれているように感じられます。

到着した午後7時過ぎ、公園では、炊き出しや物資の提供が行われ、多くのホームレスが列を作っていました。ボランティアとして参加した山本真也さんと一緒に毛布やジャンパーを持ち寄ると、人がどっと押し寄せ、「あったかいな」とつぶやき、手にとってその温もりを確かめていました。また、1人で何枚もの毛布を寝床に運んでいるの中には30代くらいの若い世代の方が目立ち、現在の社会背景を物語っていました。

支援機構スタッフの中村さんは、「仕事が見つかり、一旦自立したものの、解雇されたり、社会にうまく馴染めなかったりして、また野宿生活に戻る人もいます。生活が安定するためには、まだまだ課題があります。」とさらなる支援の必要性を話します。

今回、初めてボランティアとして参加した山本さんは、厳しい現状を目のあたりにし、物資を手渡したけれども声をかけることができなかつたといいます。長引く不況の影響で、ホームレスとな

らざるを得ない方は、今後さらに増えることも予測されます。特に越冬期間における支援は、過酷な季節をのりきるための重要なものとなりますので、引き続き、この活動に参加していきたいと思えます。今回、物資の支援にご協力いただいた市民のみなさま、本当にありがとうございました。次回、物資の持参は、2月12日(金)を予定しています。ご協力をお願いします。

## 【募集する物資】

男性用ジャンパー(Mサイズ以上)、使い捨てカイロ、軍手(Mサイズ以上)、毛布、男性用スポーツシューズ(25～28cm)

※お寄せいただく場合は、洗濯、クリーニングをお願いします。

## 【支援活動ボランティア募集】

NPO法人北九州ホームレス支援機構の支援活動に参加するボランティアを募集します。

〔活動日時〕平成22年2月12日(金)

18時稲築住民センター出発23時帰着予定

※18歳以上の方に限ります。



## ふれあい・いきいきサロンにおじゃましました NO.3 口春サロン

このコーナーでは、市内で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子をお伝えしています。

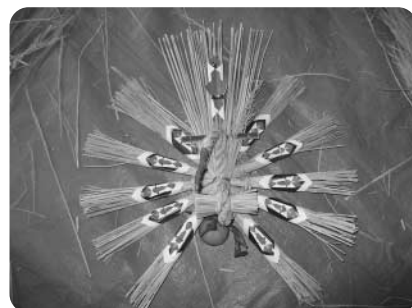
11月18日(水)、稲築地区口春公民館で開催された口春サロンしらゆり「白百合会」にお邪魔しました。

2ヶ月に1回、第2水曜日に開催されているこのサロンには、主に高齢者の方が多く参加されています。

当日は、お正月を間近に控えて、今では手作りすることが少なくなった「しめ縄作り」に、12名の方が挑戦しました。ほとんどの方が初めてで、わらを左回しにねじりながら編んでいくといった作業に悪戦苦闘していました。10年以上のキャリアをもつ西田慶子さんに指導してもらい、お互いに手伝いながら、和気あいあいとした雰囲気の中で進められたこともあって、お昼を挟み時間はかかりましたが、見事に完成することができました。参加者の一人は、「初めて作ってみたけれど、楽しかったです。お正月が今から待ち遠しいですね。」と、満足した様子で作品を眺めていました。

また、代表である尾崎美智子さんは、「家に引きこもりがちの方が多いため、このサロンが地域に出て行ける一つの場所となればいいなと思っています。」と、これからのサロンの役割について話します。

このサロンの「白百合会」という名前には、白百合の花のごとく、いつまでも輝かしく若々しく過ごしていきたいという想いが込められているようで、みなさんがいつまでもそうあってもらいたいと思います。



# おしゃべりサロンで 助産師さんによる 子育て支援講座を開催



毎月第二水曜日、10時30分から碓井千歳会館にて「おしゃべりサロン」を開催しています。このサロンは、子育て中の方や妊娠中の方、また託児ボランティアの方が月に1回集まって交流を深め、子育ての輪を広げていくことを目的としています。

12月9日(水)には、助産師の重久優子さん、梶嶋陽子さんによる子育て支援講座を開催し、子育て中のお母さんや子どもたち、出産を控えた妊婦さんなど12名が参加しました。

助産師のお二人からは、子育て支援の他に女性の体についての話もあり、お母さんたちにとってはもちろんのこと、妊婦さんにとっても大変参考になるものでした。また、みなさんがそれぞれ抱えている悩みや不安を相談できたこともあって、とても充実した時間となりました。その間、子どもたちは、託児ボランティアと元気いっぱい遊び、楽しい時間を過ごしていました。

今回参加した陶山さんは、「助産師さんとゆっくり話せる機会もないので、とても勉強になって、貴重な時間が過ごせました。」と満足そうに話し、次回を楽しみにしていました。

今後もこのサロンで、子育ての輪を広げていくことができればと思っていますので、関心のある方は一度参加してみませんか？

## 1月サロン開催予定

場 所：碓井千歳会館  
日 時：1月13日(水) 10時30分～  
内 容：福笑いであそぼう！  
お問い合わせ先  
嘉麻市社会福祉協議会  
TEL 42-0751

## 地域支えあい事業 育児支援のための協力会員募集

本会では、日常生活の中で発生する「ちょっとした困りごと」を市民のみなさんの支えあいや助けあいによって解決していく「地域支えあい事業」を実施しています。この事業は、困りごとのある方を利用会員、必要なサービスを提供する方を協力会員として、「困った時はお互い様」という関係を地域の中に広げていくことを目指しています。

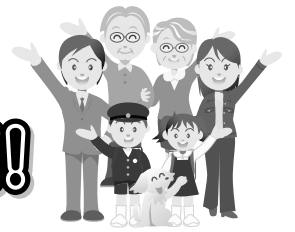
これまで、この事業の利用は高齢者がほとんどで、庭の草取りや住居の清掃、家屋の小修繕をしてほしいという相談が主なものでしたが、昨年秋に、育児支援(産後の家事支援)に関する相談がありました。今回は、5日間という短期間であったため、2名の協力会員で何とか対応できましたが、今後同じような相談に対応していくためにも、育児支援に関わる協力会員を募集することにいたしました。協力会員として活動するには、特別な資格や技術は必要ありませんので、あなたの知識や子育ての経験などを地域のために生かしてみませんか。詳しい話を聞いてみたいという方は下記までご連絡ください。



連絡先 嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

知り合おう!! 伝えよう!!

みんなの活動、地域のホットニュース!!



## 笑い声に包まれた餅つき交流会



うまく丸めることができるかな?

12月13日(日)、牛隈にある知的障害者入所更生施設さくら学園、第2さくら学園で、餅つき交流会が開催されました。

同学園では、これまでも利用者の方にお正月気分を味わってもらおうと、保護者や自衛隊の協力を得て、年末恒例の餅つきを行ってきました。今回、はじめて地域の方々やボランティアに協力を呼びかけたこともあって、当日は130名を超える参加があり、とても賑やかなものとなりました。

用意された3つの臼うすに、蒸しあがったもち米が次々と運ばれると、いよいよ餅つきのスタートです。利用者の方は、職員やボランティアきねに持ち方やつき方を教えてもらいながら、最初は慎重に、だんだん慣れてくるとダイナミックに杵を振り下ろします。「ヨイシヨ!!」という威勢のよい掛け声とともに、「パチンツ」と杵が餅をたたきま

す。リズムカルな音の後に、時折「ゴツン」という杵と杵がぶつかる音も混じり、会場は大きな笑い声で包まれました。

ようやくつきあがったあつあつの餅は室内へと運ばれ、みんなで丸めていきます。「このくらいのお大きさでいい?」、「上手、上手。でももう少し大きくてもいいかも」との会話が

の声にはおかまいなく、口に運ぶ利用者の方がいたり、とても和やかな雰囲気の中で、丸餅が出来上がっていきま

した。

当日ついたもち米は60kg。出来上がった餅の一部はみんなでお正月に食べましたが、残りはお正月にお供えする鏡餅や元日のお雑煮などに用います。

今回ボランティアとして参加した梶原浩一さんは「昔は、家でも杵でついていたけ

ど、今は機械でするようにな

って、何年かぶりに餅をつきました。みんなと一緒にとても楽しい時間を過ごすことができました。」と充実感を口にします。また、利用者の皆さんにとっても、餅つきをつうじて、地域の方々とおふれあうことや、新年の始まりを肌で感じる事ができた一日となったようです。



職員とボランティアで息を合わせて

## ボランティアグループ紹介

### 図書ボランティアサークル ピノキオ

#### ●グループ発足の経緯を教えてください。

平成4年に学校週5日制がスタートしました。当時は第二土曜日だけの休みでしたが、地域の中で活動できる場所を作りたいということで、山田市中央公民館図書室で開催されたおはなし会の参加者に、社会教育課が呼びかけたことがきっかけで、発足しました。当時はメンバーが30名近くいましたので、分かれて旧山田市内の4つの小学校を訪問し、読み聞かせなどの活動を行っていました。

#### ●現在は具体的にどのような活動をされているのですか？

実際の活動に参加しているメンバーは6名ほどになっています。現在は市内の子育て支援センター、山田地区の保育所、図書館などで、パネルシアターやエブロンシアター、大型絵本の読み聞かせを行っています。

#### ●会が今抱えている課題とこれからの目標をお聞かせください。

私たちの会は、発足当初から大人だけではなく、子どももメンバーとして、一緒に活動してきました。

しかし、子どもたちの生活も時代とともに変化してきていて、勉強、部活、習い事…と忙しくなっている子どもが多いようです。現在子どものメンバーはその影響もあってか、2名だけになっています。

本や読み聞かせなどの活動に興味のある子どもはたくさんいると思います。

保護者の方にも一緒に加わってもらって、そうした子どもたちが活動に参加しやすい環境を作っていければいいなと思います。

子どもたちには、学校ではできない体験をたくさんしてほしいですね。

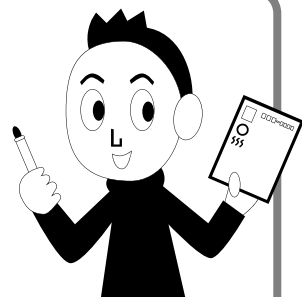


## 書き損じの年賀はがきを募集しています!!

お正月に届くとうれしい年賀状ですが、手書きで一人ひとりにメッセージを添えて作るとなると、ちょっと大変というのが正直なところではないでしょうか。

この度、嘉麻市社会福祉協議会では、書き損じのために投函できなかった年賀はがき(一般のはがきも可)を募集することにいたしました。

お寄せいただいたはがきは、郵便局で切手や新しいはがきに交換し、本会が実施する地域福祉事業の通信費として活用させていただきますので、ぜひご協力ください。



### ふくおかきずなフェスティバル

2月28日(日)、春日市のクローバープラザで「ふくおかきずなフェスティバル2009」が開催されます。ボランティア活動に興味のある方や子育て支援に関心のある方は、ぜひご参加ください。

**日時** 2月28日(日) 10時～15時30分

**場所** クローバープラザ(春日市原町3-1-7)

**内容** ボランティア活動別分科会、ステージイベント、講演会、障害児者自立支援施設授産品フェア、親子で楽しめるイベントなど

**その他** 参加される場合は、申し込みが必要ですので、1月27日(水)までに本会までご連絡ください。

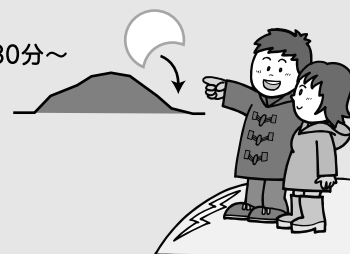
## イベント情報

### 日没帯食観察会

1月15日(金)、太陽が月に隠れ、欠けた状態のまま沈んでいく日没帯食が見られます。宮地在住の西川光義さんが観察会を開催しますので、興味のある方はぜひご参加ください。

**日時** 1月15日(金) 16時30分～

**場所** 嘉麻市立平保育園前  
(平747-15)



今年の干支である表紙の虎は、松岡修一さん(大力在住)の作品です。

# いよいよ22年の幕開けです

稲築西学童保育所

稲築西学童保育所の子ども達は、今、冬のあそびを楽しんでいます。

ひとつは相撲あそびです。同年同士での勝ち抜き戦や異年齢の子どもの対抗戦です。「西〇〇〇、東、〇〇〇」と行司の呼出しで両力士の登場です。「にらんでにらんで、はつけよ〜い、のこった」の合図で取り組みが始まります。ちびっこ力士は顔を真っ赤にし、土俵から投げ出されまいと、お互い渾身の力を振り絞って戦っています。応援する側にも力が入り、まるでテレビの相撲中継をみているかのような力強い取り組みです。

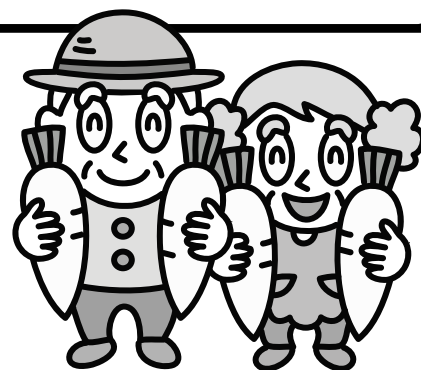
一方では、『あやとり』『かるた』『お手玉』であそんでいます。現代忘れかけている昔ながらの伝承あそびは、子ども達の心を引きつけ同時に頭や身体を使って楽しめるので子ども達には大人気です。また、冬の製作活動として『マフラー編み』をしています。「お母さん、喜んでくれるかなあ」と相手のことを想いながら、心を込めてコツコツと編んでいます。わからないところがあれば、友達同士教えあったり、高学年の子が低学年の子に優しくゆつくり教えてあげている情景は、とても微笑ましく感じられます。

学童保育所では、年間を通じ季節に合ったあそびを展開しながら、子ども達が今、心から満足できるあそびを今年もたくさん計画していきたいと思っています。



## 寄ってこハウス情報

### 大量のアオムシ襲来!! でも無農薬にこだわりたい!!



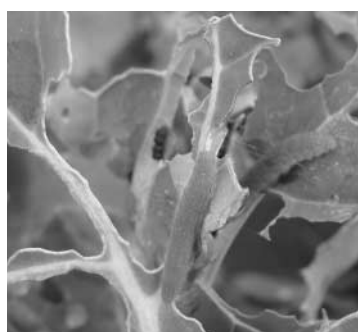
昨年の秋、ボランティアやご近所の方々の協力を得て、寄ってこハウスの畑でキャベツやブロッコリー、カリフラワー、大根などの冬野菜作りに初めて挑戦しました。

収穫までの間、私たちの頭を悩ませたのが大量のアオムシの発生です。

無農薬で育てたいという思いがあって、ブロッコリーやカリフラワー、キャベツなどに群がるアオムシを割り箸で一匹一匹取り除いたり、インターネットなどでアオムシ対策法を調べて挑戦してみましたが、効果はみられず、侵食は進む一方でした。多くの野菜はなんとか収穫できたのですが、中には侵食がひどく、収穫できなかったものもあり、農家の皆さんの大変さを少し実感しました。

寄ってこハウスの畑では、春から路地野菜を育てていきますので、無農薬での野菜作りについて知識や経験のある方、野菜作りをはじめてみたい方など、ぜひ一緒にやってみませんか。興味・関心のある方は下記までお気軽にご連絡ください。

なお、寄ってこハウスの野菜作りの詳しい内容は、ブログにも掲載していますので、ご覧いただければと思います。



嘉麻市社協ブログ

<http://d.hatena.ne.jp/kamasyakyo>

お問い合わせ先

嘉麻市社会福祉協議会

☎42-0751

嘉麻市の住民の皆様から、  
ご寄附をいただきました。  
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

11月16日～12月15日受付分

【下牛隈】

親族 武田 幸一様

故 武田 進様

親族 福澤 フジ子様

故 福澤 朔様

【大力】

親族 中村 徳幸様

故 中村 ヤス子様

親族 松岡 正利様

故 松岡 文雄様

【上山】

親族 佐藤 カズミ様

故 佐藤 誠様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同様

【子育てリユース】

親族 飯尾 由美子様

故 三池 忠弘様

親族 藤木 サカエ様

故 藤木 輝忠様

親族 山野 第二 西村 優起様

故 菅原 原 由美様

親族 嘉穂才田 児玉 清美様

故 飯塚市 福間 美紀様

親族 飯塚市 朱雀 麻起様

【アルミ缶】

西岩崎 匿 名様

下白井東 匿 名様

六四田 松田 敏雄様

ゆうひが丘 大塚 直美様

本町 室井 榮子様

百々谷 吉元 悦子様

神幸 松岡 敦子様

【リングブル】

口春 山下 春寿様

辻中籠 森安 恭子様

錢代坊 工藤 恵様

鴨生北町 矢野 きさ子様

石ヶ崎 渡邊 美千代様

三菱第一 山田 恵子様

熊ヶ畑第二 山本 ヨシ子様

西川 角 博貴様

神幸 松岡 敦子様

牛隈 小西 一美様

嘉穂才田 大屋 由美様

桂川町 中川 久美子様

田中茶舗 田中茶舗 様

あさひ美容室 様

ひまわり会 様

さくら学園・第2さくら学園様  
嘉穂手話の会 様

【古切手】

鴨生第一 藤井 幹裕様

石ヶ崎 渡邊 美千代様

桂川町 匿 名様

嘉麻市高齢者介護課 様

教育ナビゲーション(株) 様

嘉穂手話の会 様

グラントベルズ飯塚 様

あなたの会費が、社協の  
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご  
加入いただきました。  
(敬称を省略させていただきます)  
11月16日～12月15日受付分

【個人会員】

〈鴨生第一〉湯谷僖丹(三〇口)、  
月俣貞子、太田テル子(二〇口)、  
林正文(二〇口)、川原幸二、添田  
ナミエ(二〇口)、嶋田美佐子、添  
田アイ子(二〇口)、井山俊男、河  
野敏、安永文太郎、野見山照男、

【西岩崎】  
親族 溝口 節子様  
故 溝口 数人様

【錢代坊】  
親族 辻田 京子様  
故 西山 タミエ様

【出川】  
親族 和田 秀明様  
故 和田 ミスエ様

【猪之鼻】  
親族 飯尾 由美子様  
故 三池 忠弘様

【天神】  
親族 藤木 サカエ様  
故 藤木 輝忠様

【貞月】  
親族 伊藤 スミ子様  
故 伊藤 博夫様

【三菱第一】  
親族 藤本 信子様  
故 藤本 寿様

【中央】  
親族 三浦 一恵様  
故 三浦 角男様

【筑紫】  
親族 都築 武志様  
故 都築 金剛様

【枝坂】  
親族 平野 カチヨ様  
故 平野 準人様

【鴨生町】  
親族 山本 征子様  
故 山本 光持様

親族 福澤 榮二様  
故 福澤 富雄様

親族 古賀 謙三様  
故 古賀 キヨ子様

【琴平団地】  
親族 森田 伸一様  
故 森田 順子様

【一般寄附】  
嘉穂の名水愛好者一同様



井手恒子、金丸米屋(三口)、渡辺勝美、金丸ヤツ子、金丸昌徳、安元和義、大山民江(二口)、野寄正弘、野見山佳昌、山田栄(二口)、新地和典、笹栗生馬、手島柴折、山本祝、川上祐正、三角康仁、多田ノリ子、百田千恵(二口)、細木庄三郎(二口)、平野卓義、平田洋子、中村恒行、伊東重子、山下勝子、林米子、高橋政江、山下晃、粉井八重子、畑卓一、熊谷百合子、熊谷静子、留奥トメ子、堀利彦(二口)、藤原袈裟秀(二口)、川端吉鹿、添田文影、佐藤美智子(二口)、岡登、岩佐登美男、安部愛子、山元元一、花村誠一、おかもと美容室、稲築愛恵医院(十口)

〔**鴨生第二**〕富崎清子(二口)、友成タミ、萩原志喜子、伊藤正巳、原岡徳光、原岡隆徳、高井源一、十亀恵子、森江富子、西一雄、古川宏、山本活樹、高倉邦子(三口)、渡辺博且、明比満、徳丸隆之、高山広吉、和田俊子

〔**鴨生町**〕生野信子

〔**枝坂**〕山田敏彦、出嶋浩二(中嶋幸、的場定男(二口)、松尾幸雄、赤星綾子、笹栗雅之(二口)、尾畑学、前橋シゲ子、豊岡スエノ、岡本拓彦、馬場敦志、福田國広、摩治八重子

〔**新山野**〕14組(二口)、18組(二口)、平嶋美奈絵

〔**山野第一**〕庄司啓子

〔**下白井西**〕田中フク

〔**上白井上**〕坂田マス子、坂田雅量

〔**木城**〕有吉靖子、松岡孝司、西藤敏子、江藤ヒサエ、大塚ツルエ、中田盛樹、竹中ミツ子、坂口豊子、重松紀久子、松尾フジ子、岸房綾子、大塚静

〔**長野**〕高松千代

〔**尾浦第二**〕豊義満(三口)

〔**下益**〕真次美恵子

〔**法人会員**〕

〔**鴨生第一**〕ひらの歯科医院、医療法人平野医院、シルバークア嘉穂、(有)田村環境開発工業

嘉麻市社会福祉協議会指定  
**葬祭場紹介**

**セレモニーホールおおつか** 嘉麻市下山田9-1 ☎(0948)52-1212



- 24時間、承ります。
- 真心こめて、お手伝いさせていただきます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニーホールおおつかを含め、市内に8カ所あります。

- かほ葬祭 あじさい会館……………☎62-5566
- 善光会館 稲築会場……………☎83-5000
- おかむら葬祭岡村会館……………☎42-4420
- 飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241
- きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎62-4499
- ひさつね会館……………☎52-0758
- いすや会館……………☎57-4444

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

**知っておきたい**

**葬儀マナー・基礎知識 No.32**

今回ご回答頂くのは…  
セレモニーホールおおつか  
大塚秀樹さん



**Q** 永代供養とはどういったものですか？

**A** 永代供養は、本来自分の菩提寺を絶やさないように、子孫の代まで先祖を祀り供養していくものですが、最近では事情があつてお墓参りに行けない方や身寄りのない方などが、お寺に先祖の供養やお墓の管理をしてもらうという考え方が増えているようです。

**2月の総合相談**

法律相談は予約が必要です。  
お早めに右記までお申込み  
ください。

**法律相談**

と き: **2月4日(木)** 13:00~16:00

と ころ: **山田ふれあいハウス**

と き: **2月18日(木)** 13:00~16:00

と ころ: **稲築住民センター**

**心配ごと相談**

と き: **2月10日(水)** 13:00~15:00

と ころ: **稲築住民センター**

と き: **2月24日(水)** 13:00~15:00

と ころ: **稲築住民センター**

嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751

古びた写真が一枚！ かけがえのない思い出！

嘉麻市(旧稲築町)を離れたのが今から四十一年前になります。稲高を卒業し大都市にここが大阪、名古屋、東京、アメリカ、カナダ、香港、中国、マレーシア、シンガポール、ベトナム、タイ、フィリピン、韓国...と渡り歩き、日本の故郷の素晴らしさを



東京都世田谷区在住  
北地 憲治さん(59歳)  
鴨生出身

実感している今日この頃です。炭鉱の町筑豊で育った環境が今の自分を支えてくれ、負けず嫌いの根性がどこまで続くか常にチャレンジ精神で、大都会東京で頑張っております。

はじめに家族全員を連れて帰郷した際、小学校の時の思い出が強烈に浮かび、子どもたちに英彦山の鬼杉を見せたくて無理やり連れて行きました。家族四人が手をつないでも鬼杉を一周することができず、しばらく全員で大木に耳をつけ、大自然のエネルギーの素晴らしさを実感？東京生まれの子どもたちには、私の思いが伝わったかどうかはわかりませんが、最近鬼杉をもう一度見に行きたいと言っています...親としてニッコリうれしさを隠されません。

年をとったせいなのか、懐かしい故郷の香りが特別意識しなくても自然によりみがえってくる。今年で六十歳になってしまふ寂しさと、逆に十八歳の頃の自分に戻り、その視点で周りを懐かしむ自分がそこにある。遠くに見える英彦山、近くに流れる嘉麻川、いまだ変わらず稲築の大地にいっきと恵みを与えてくれる。筑豊の地名も著るしく、稔り豊けき稲築の、よどまむ流れ、嘉麻川！故郷の思い出ではなく、故郷に戻る時期が近いのではと、ふと考えてしまふ。亡両親が撮ってくれたアルバムを見、最近思い出に酔いしれてしまふ。四十一年前の稲高を卒業した時期、東中学校、鴨生小学校、平小学校、漆生幼稚園...アルバムをめくっていると、稲築を旅立つ日に友が見送ってくれた写真が出てきた。「カチッ...」かけがえのない思い出である。私の旅立ちの原点であり、そして親もたらした社会人としての一歩を歩き始めた時期を、この写真が強烈に思い起こさせてくれる。純粋な学生服の自分の姿がそこにあり、友人たちに見送られ、夢と希望に満ち溢れている。旅立ちの自分の姿を見ると、感無量だ。初心に戻り、疲れ果てた肉体を奮い立たせてくれた。

古き良き友、今は何処へ...！  
癒しを求めて実家に帰った時期もあったが、今は両親の墓参りで新年を迎え、心新たに家族を連れて両親の墓参りを！

いつまでも安心して暮らせる地域づくりのために

～平成21年度の「社協会員」を募集しています～

「住み慣れた嘉麻市で、いつまでも暮らし続けたい」という願いは、市民共通の思いではないでしょうか。今日、介護保険をはじめとする、様々な公的な福祉サービスは充実してきていますが、制度だけでは対応することができない福祉課題も多数存在しているのが実態です。本会は、市民の方々の参加と協力に基づいて、そのような福祉課題を解決する事業や活動を実施していくため、年間を通して「社協会員」の募集を行っています。

平成21年度にみなさんからお寄せいただいた会費は、地域支えあい事業や子育てリユースセンター事業、地域福祉部の設置・支援事業などの活動財源として、有効に活用させていただきますので、趣旨をご理解いただきまして、多くの方々のご加入をお願いいたします。



■会費の種別と金額

一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 3,000円/年額

お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



この写真は、現在の碓井千歳会館の辺りにあった吉隈炭鉱の立抗を写したものです。(坂本弘之さん提供)

この立抗は、昭和36年に完成しましたが、昭和37年7月には下白井坑が終掘したことから、およそ1年半しか稼動していないのだそうです。また、同炭鉱が閉山を迎えた昭和44年から数年たった頃には取り壊されたため、この場所に立抗があったということを知っている方も少なく、この写真はとても価値のあるものとなっています。



現在の様子

炭鉱時代の懐かしい写真を募集しています。  
その写真にまつわるエピソードなどもお聞かせください。  
まずは、嘉麻市社会福祉協議会 (TEL42-0751)までご連絡ください。

シリーズ  
炭ヤ  
鉱マ  
の  
記憶  
No.34